

本巣市デジタル田園都市構想総合戦略（第3期本巣市総合戦略）（案）のパブリックコメント実施結果

- 1 募集期間 令和7年1月30日（土）から2月28日（金）まで
- 2 提出件数 1名
- 3 意見の要旨と市の考え方

頁	意見の要旨	市の考え方
33	第6章 第3期総合戦略 3. 基本目標と具体的な施策 基本目標3 子育て世代に対する支援 ○本文では、「本巣市が子育てしやすいまちである」という市民アンケートの結果が記載されているが、「本巣市の施策」によって子育てがしやすくなっているのではなく、近居する家族の有無等も含め本巣市で子育てをすることが、ベストやベターである、という回答であると理解すべきであると思う。（私も、そのような意図で回答したと記憶している。） ○夫婦共働き、双方正社員として働く者としては、近居する親の力なくして、本巣市で二人の幼児を育てることは、不可能であると感じている。市内の幼稚園に子を通わせる母親たちからも、「子どもが未満児の間は、時短が取れるから何とかなるが、3歳以上児に上がるとフルタイムしか選択肢がなく、時間的にも体力的にも厳しい。だから、パートにせざるを得ないかも・・・」という声も多い。 ○本巣市の（恐らく意思決定に近い中高年男性の）子育て支援の考えは、「同居もしくは近居の祖父母がいる（から、病児は家でなんとかみれる）でしょ」「母親はどうせパートでしょ。早く帰ってのんびり夕飯作ってるんでしょ。（平日昼間に仕事休んで、PTAの行事も出れるでしょ。）」「祖母世代だって、ずっと我慢してきたんだから、令和の親も我慢すべき」という昭和的な感覚が、抜けていない。	○いただいたご意見を参考に、ニーズを的確に捉えて、市民に寄り添った施策を推進して参ります。 ○本巣市の公立保育園・幼稚園では、勤務・通勤時間の都合などで通常保育時間内に送迎ができない場合に、延長保育・預かり保育を受けることができるなど、仕事と子育てを両立しやすい環境づくりに取り組んでいます。なお、いただいたご意見を参考に、ニーズを的確に捉えて、市民に寄り添った施策を推進して参ります。 ■延長保育事業 両親の就労等の状況により、保育園での通常保育時間に不足する保育必要量に対して延長保育を行います。 ※早朝保育：午前7時30分～ ※薄暮保育：午後5時～午後7時まで ■預かり保育事業 両親の就労等の状況により、幼稚園での保育時間に不足する保育必要量に対して預かり保育を行います。 ※早朝保育：午前7時30分～ ※薄暮保育：午後2時～午後7時まで

頁	意見の要旨	市の考え方
	○本巣市は、本戦略に掲載されているように、確かに乳幼児（未就園児）への支援は手厚いが、就園・就学以降の支援は薄い。本巣市で二人の幼児を育て、周辺の子育て世帯と話す中で、以下のような点について抜本的な改善が必要と感じる。 ・市立幼稚園、小学校において、「両親が正規フルタイムで働いている」という想定の子育て支援を提供すること。 ・よって、幼稚園での長期休業期間（特に春休み）の弁当持参というルールは、即刻廃止すべき。職員異動で給食センターが開けられないならば、簡易給食でもよいし、民間業者（幼児食もあり）に宅配してもらえばよい。（スマート連絡帳や写真オーダーシステムのように、DXの活用で、園に手間をかけず、業者と各保護者で受発注すればよい。）保育園に預けていて、弁当を持参するのは近隣では聞いたことがなく、年度末年度初めで業務多忙な時期、結局、母親に大きな負担となる。本巣市の保育園話を岐阜市民にすると、いつも驚かれる。 ・また、小学生の夏休み児童クラブでも、現在はお弁当持参が常識であるが、上記のようなDXをからめた取り組みが可能になれば、非常に先進的であり、親の負担軽減となる。「子育てしやすいまち」と大々的にPRできるのでは。 ・市立の病児・病後児預かり施設の設置を検討すべき。子どもの預け先がなくては、仕事できない。 ・保育士は現在も不足していると思われ、「子ども誰でも通園制度」も大きな負担になると思われる。市立幼稚園職員にはいつも感謝しているが、業務の多さにより保育の質が下がることのないよう、各人の都合に配慮できる職場とし、ゆとりある配置計画、採用としてほしい。 ・設置者ではなく利用者にとって、公立公営であることのメリットが低いのであれば、幼稚園・保育園は民営を検討すべき。	○いただいたご意見を参考に、市民に寄り添った施策を推進して参ります。なお、個別の事業に関するご意見については、関係各課に情報共有をいたしました。また、第3期総合戦略に位置づけた事業については、国や県、近隣市町の動向にも注視しながら進めて参ります。

頁	意見の要旨	市の考え方
35	第6章 第3期総合戦略 3. 基本目標と具体的な施策 基本目標3 子育て世代に対する支援 子育て支援サイト（もといくネット）運営事業	
	○システムが十分活用されていない。いつも情報が遅い。子どもセンター、支援センターや乳幼児健診の利用計画のため閲覧したが、先の情報はない（今の時期なら、来月、来年度の情報）。現在の情報はもちろん、今後の情報を早く載せないと、閲覧する価値がない。また、子育てに有益な情報（イベント情報等）が掲載されておらず、結局いつも広報紙をネットでみている。	○いただいたご意見は、運用改善に努めるべく、関係課に情報共有をいたしました。
36	第6章 第3期総合戦略 3. 基本目標と具体的な施策 基本目標3 子育て世代に対する支援 男女共同参画の推進	
	○「男女がともに参画し、能力が発揮できるまち」の実現を目指し、ここ数年で、再就職支援事業等を開始したことは承知しているが、第3期総合戦略では、新規事業や具体的な改善策を検討しているように見えない。	○男女共同参画の推進について、市民ニーズを的確に捉えて改善を図りながら、引き続き関連事業に取り組んで参ります。